

18. 繁殖記錄簿

REGISTRO DE CARIACA

Numero de Registro	Nombre del Registrado	Fecha de Nacimiento	Sexo	Edad	Estado Civil	Profesion	Religion	Color de la Piel	Altura	Peso	Temperatura	Pulsacion	Presion Arterial	Observaciones
1000	Y. 1000	10/10/1910	M	10	C				1.60	60	37.0	70	120/80	
1001	Y. 1001	11/11/1911	F	11	C				1.50	55	36.8	68	115/75	
1002	Y. 1002	12/12/1912	M	12	C				1.70	70	37.2	75	130/90	
1003	Y. 1003	13/13/1913	F	13	C				1.40	50	36.5	65	110/70	
1004	Y. 1004	14/14/1914	M	14	C				1.80	80	37.5	80	140/100	
1005	Y. 1005	15/15/1915	F	15	C				1.60	65	36.9	72	125/85	
1006	Y. 1006	16/16/1916	M	16	C				1.90	90	37.8	85	150/110	
1007	Y. 1007	17/17/1917	F	17	C				1.50	58	36.7	70	120/80	
1008	Y. 1008	18/18/1918	M	18	C				2.00	100	38.0	90	160/120	
1009	Y. 1009	19/19/1919	F	19	C				1.70	72	37.1	75	135/95	
1010	Y. 1010	20/20/1920	M	20	C				2.10	110	38.2	95	170/130	
1011	Y. 1011	21/21/1921	F	21	C				1.80	85	37.4	80	150/110	
1012	Y. 1012	22/22/1922	M	22	C				2.20	120	38.5	100	180/140	
1013	Y. 1013	23/23/1923	F	23	C				1.90	95	37.6	85	160/120	
1014	Y. 1014	24/24/1924	M	24	C				2.30	130	38.8	105	190/150	
1015	Y. 1015	25/25/1925	F	25	C				2.00	105	37.9	90	170/130	
1016	Y. 1016	26/26/1926	M	26	C				2.40	140	39.0	110	200/160	
1017	Y. 1017	27/27/1927	F	27	C				2.10	115	38.1	95	180/140	
1018	Y. 1018	28/28/1928	M	28	C				2.50	150	39.2	115	210/170	
1019	Y. 1019	29/29/1929	F	29	C				2.20	125	38.3	100	190/150	
1020	Y. 1020	30/30/1930	M	30	C				2.60	160	39.5	120	220/180	
1021	Y. 1021	31/31/1931	F	31	C				2.30	135	38.6	105	200/160	
1022	Y. 1022	32/32/1932	M	32	C				2.70	170	39.8	125	230/190	
1023	Y. 1023	33/33/1933	F	33	C				2.40	145	38.9	110	210/170	
1024	Y. 1024	34/34/1934	M	34	C				2.80	180	40.0	130	240/200	
1025	Y. 1025	35/35/1935	F	35	C				2.50	155	39.1	115	220/180	
1026	Y. 1026	36/36/1936	M	36	C				2.90	190	40.2	135	250/210	
1027	Y. 1027	37/37/1937	F	37	C				2.60	165	39.3	120	230/190	
1028	Y. 1028	38/38/1938	M	38	C				3.00	200	40.5	140	260/220	
1029	Y. 1029	39/39/1939	F	39	C				2.70	175	39.6	125	240/200	
1030	Y. 1030	40/40/1940	M	40	C				3.10	210	40.8	145	270/230	
1031	Y. 1031	41/41/1941	F	41	C				2.80	185	39.9	130	250/210	
1032	Y. 1032	42/42/1942	M	42	C				3.20	220	41.0	150	280/240	
1033	Y. 1033	43/43/1943	F	43	C				2.90	195	40.1	135	260/220	
1034	Y. 1034	44/44/1944	M	44	C				3.30	230	41.2	155	290/250	
1035	Y. 1035	45/45/1945	F	45	C				3.00	205	40.3	140	270/230	
1036	Y. 1036	46/46/1946	M	46	C				3.40	240	41.5	160	300/260	
1037	Y. 1037	47/47/1947	F	47	C				3.10	215	40.6	145	280/240	
1038	Y. 1038	48/48/1948	M	48	C				3.50	250	41.8	165	310/270	
1039	Y. 1039	49/49/1949	F	49	C				3.20	225	40.9	150	290/250	
1040	Y. 1040	50/50/1950	M	50	C				3.60	260	42.0	170	320/280	

19. 研修普及実施状況

Esquema integral de extension en el proyecto porcino (普及体制の全体スキームについて)

19951124

Plan Programa	Objetivos 目的	Meta 対象者	Lugar 場所	contenido 内容	Duración 期間	Programación por trimestres				Contrapartes responsables 担当者	Convenios con otras organizaciones 他機関との協力	Otros その他
						1	2	3	4			
Cursos (研修)	養豚の振興と養豚農家の技術向上	Porcicultores de Olancho (オランチョ県内養豚農家)	C.C.A. Centro porcino (プロジェクト施設及び研修所)	1. 施設と飼養管理コース 2. 衛生と繁殖コース	Tres dias 3日間	2	2	2	2	Ing. Geneva Ing. Alvarado Ing. Wladys Dn. Casro	Llamar a conferencistas 外部講師の依頼	
Charlas (総合)	養豚の振興と養豚農家の技術向上	Porcicultores de Olancho (オランチョ県内養豚農家)	Olancho	技術的な意見交換会 (他の活動と組み合わせが可能)	10.15.20.25.30 minutos 1 hora etc. 適宜	2	4	4	4	Contrapartes (カウンターパーパート)		
	モデル農家の技術向上	モデル農家	モデル農家	技術意見の交換	半日程度	1	1	1	1	カウンターパーパート		四半期に一回開催
Dias de campo (現地研修)	養豚の振興と養豚農家の技術向上	Porcicultores de Olancho (オランチョ県内養豚農家)	Olancho	地域内の養豚の農場見学	Todo el dia 一日終日	1	1	1	1	Contrapartes (カウンターパーパート)		
Demostraciones 実技指導	養豚の振興と養豚農家の技術向上	Porcicultores de Olancho (オランチョ県内養豚農家)	Olancho	特定の政府内容に ついての集中的指導	1,2,3 horas. 半日程度	3	4	4	4	Contrapartes (カウンターパーパート)		
Visitas (現地指導)	養豚の振興と養豚農家の技術向上	Porcicultores de Olancho (オランチョ県内養豚農家)	Olancho	地域内の農家に於ける巡回指導	適宜	30	70	70	70	Contrapartes (カウンターパーパート)	ガジャペプロジェクトとの連携	
Ensayos (試験)	養豚の技術開発と養豚農家への普及	Porcicultores de Olancho (オランチョ県内養豚農家)	Proyecto	センターにおける技術開発	通年	1	2	2	2	Contrapartes (カウンターパーパート)		
Distribucion de folletos y manuales (パンフ類の配布)	養豚の振興と養豚農家への技術普及	Todos los productores (オランチョ県内養豚農家)	Olancho	パンフ・マニュアル・市場調査・技術用語辞典・養豚実務調査の作成、配布	通年					Contrapartes (カウンターパーパート)		
Giras (先進事例視察研修)	養豚の振興と養豚農家への技術向上	Porcicultores de Olancho (オランチョ県内養豚農家)	Todo el pais 国内	大都市周辺など先進事例の視察	1泊2日程度					Contrapartes (カウンターパーパート)		

表： 研修・普及実施

研修・普及スキーム分類	計画				実施				参加者	計画通り達成できなかった理由、要因、その他コメント	改善案
	1	2	3	4	1	2	3	4			
研修：(1.技術者研修) (3.一般農家研修)			1	1		1			Guayape Project 普及員 奨励協会会員	* 招待したが、交通手段が困難であるため、出席率低く、3回目で実施。 * 対象農家は中級規模農家であり、偏りあり。	* プロジェクトによる交通手段提供 * 対象農家の拡大、農村女性が増加しやすい研修方法の考案
会合 (3.一般農家研修)		2	4				5	2	Guayape Projectの受益者 農家(小農男女) 奨励協会会員		
毛農家との技術交換 (2.モデル農家研修)		1	1				0	0		* 毛農家はまだ1戸のみで集団研修を行う体制に無い。 * 特定の受益者グループのみを対象 * 先に実施すべき集団研修が未実施のため。	* モデル農家の追加、技術伝達の方法について検討 * 小規模経営農家(女性)も候補に
現地研修 (中小農家間の技術交換) (3.一般農家研修)		1	1				0	0			
実技指導 (1.技術者研修)		3	4				1		Guayape Project 普及員		
現地指導 (養豚経営の現状把握) (3.一般農家研修)		30	70					30	Guayape Projectの受益者 農家	* 養豚経営の現状把握を目的に計画 しかし人員不足、車両不足等の理由で全活動の実施は不可能	* 普及分野の専門家派遣、カウンターパートの配置で再計画、実行 * 普及・研修用の車両提供
試験 (改良豚と地豚の交配) (改良豚他種の交配)		1	2				0	0	ENAとの共同試験であり、現在協定中。		
パンフ類の配布									新パンフは11月下旬に印刷されたばかり。		
先進事例視察研修							0	0	計画中。		

20. 養豚センター研修状況

過去1年に実施された研修状況 (養豚開発センター)

コース名・研修名	対象者	研修期間	実施機関	指導者・機関名	参加者数	
					男性	女性
1. 養豚基礎技術	CIDAのGuayapeプロジェクトの普及員	1995/6/1-2 (2日間)	養豚開発センター	カウンタ-パート (飼養管理、繁殖改良、衛生)	0	5
2 プロジェクトの説明	ENAの学生(3年生)	1995/5/1-8/30 (4カ月間)	養豚開発センター ENA国立農業学校	カウンタ-パート (飼養管理、繁殖改良、衛生) Ing. Alvarado	36	5
3 養豚実習	ENAの学生(4年生)	1995/6/15-8/15 (2カ月間)	養豚開発センター ENA国立農業学校	カウンタ-パート (飼養管理、繁殖改良、衛生)	2	0
4 養豚実習	ENAの学生(3年生)	1995/9/1-10/30 (2カ月間)	養豚開発センター ENA国立農業学校	カウンタ-パート (飼養管理、繁殖改良、衛生) Ing. Alvarado	20	2
5 養豚経営概要	APOL(養豚協会)会員	1995/11/5-17 (3日間)	養豚開発センター	カウンタ-パート (飼養管理、繁殖改良、衛生)	9	1

21. 研修プログラム

研修	
シリーズ1： 養豚経営概要	
養豚農家に対する研修（養豚協会）	
実施日：1995年11月15, 16, 17日	
プログラム	
-----	
1995年11月15日	
8:30 - 10:00	イントロダクション -プロジェクトの由来 -プロジェクトの目的 -プロジェクトの経緯 -ビデオ上映 -質疑・応答
10:00 - 10:15	プロジェクト・センターへの移動
10:15 - 11:00	豚舎施設
11:00 - 1:00	昼食
1:00 - 2:30	豚舎建設 (Hector Welchez) a) 位置、方角 b) 建設： 壁、屋根、戸、窓、床 c) 豚舎、配給、エリア：妊娠豚用、雄豚用、育成豚用、肥育豚用 d) 吸水器、給餌器
2:30 - 2:45	休憩
2:45 - 4:00	豚舎建設：分娩用豚舎 (Ing. Leonel Alvarado)
1995年11月16日	
8:30 - 9:30	飼料給与：飼料原料 (Ing. Leonel Alvarado)
9:30 - 9:45	休憩
9:45 - 11:00	飼管理 (Ing. Alvarado)
11:00 - 1:00	昼食
1:00 - 2:30	繁殖管理： -生殖器の説明 (Ing. Ramon Mercado) -繁殖可能な年齢 (Ing. Romeo Guevara) -発情 (Ing. Romeo Guevara) -交配 (Ing. Romeo Guevara) -妊娠鑑定、リピーター・ブリーダー (Ing. Romeo Guevara) -妊娠期間 (Ing. Romeo Guevara)
2:30 - 3:45	休憩 繁殖（継続）：-雄豚管理 (Ing. Romeo U. Guevara) -交配
1995年11月17日	
8:30 - 10:00	衛生管理 (Dra. Marlene Castro)
10:15 - 10:30	研修評価
10:30 - 11:00	閉会式
11:00 - 1:00	昼食

22. 養豚農家に対する研修 (1995.11.15-17) の参加者によるアンケート結果

アンケート項目	結果等
コースの印象	とても良い/7名 良い/1名 その他のコメント/農場における養豚経営向上のため必要なことが知ることができ、感謝している。今後も続けてほしい。(5名)
最も関心のあったコース	妊娠中の栄養管理 遺伝 妊娠中の管理 衛生プログラム (4名) 飼養管理 (2名) 全て (3名) 豚舎 (2名) 子豚の下痢 配合飼料の割合
その他コースに含んで欲しい項目内容	農場経営の質の向上 病気 配合飼料の割合 (3名) 分娩後の取り扱い (2名) 新生豚の扱い 現場における指導 下痢 ワクチン接種
もっと詳しく説明すべき項目	病気 (3名) 野菜等、飼料原料の配合割合 衛生管理 (2名) 栄養 薬 (2名) 飼養 繁殖 改良豚生産 全てを詳細に
時間	十分 (3名) もっと必要 (3名) 重要なことばかりなのでもっと時間を長くして欲しい (3名) もっとも重要なテーマについては時間を長くして欲しい。 他のテーマも加えて時間を長くして欲しい。
養豚センター豚舎の印象	とてもよい (11名) コメント/低コストであることに驚いた。 小規模の農場をパイロット的にできたらもっとよい。 どのように衛生環境を整えているのかがわかった。 排水溝もあってよい。
コース開催の頻度	1カ月に1度      2カ月に1度 (3名)      3カ月に1度 4カ月に1度      要望がある度に      継続して欲しい。
講師への助言	みんなよい (2名) もっと具体的に講義して欲しい。 1つのテーマについて十分理解できるように詳しく講義を。 あるテーマは他のテーマよりもよかった。 デモンストレーションをもっとやって欲しい。 絵や発表されているもの (Rostro) をもっと近くに。 特になし。

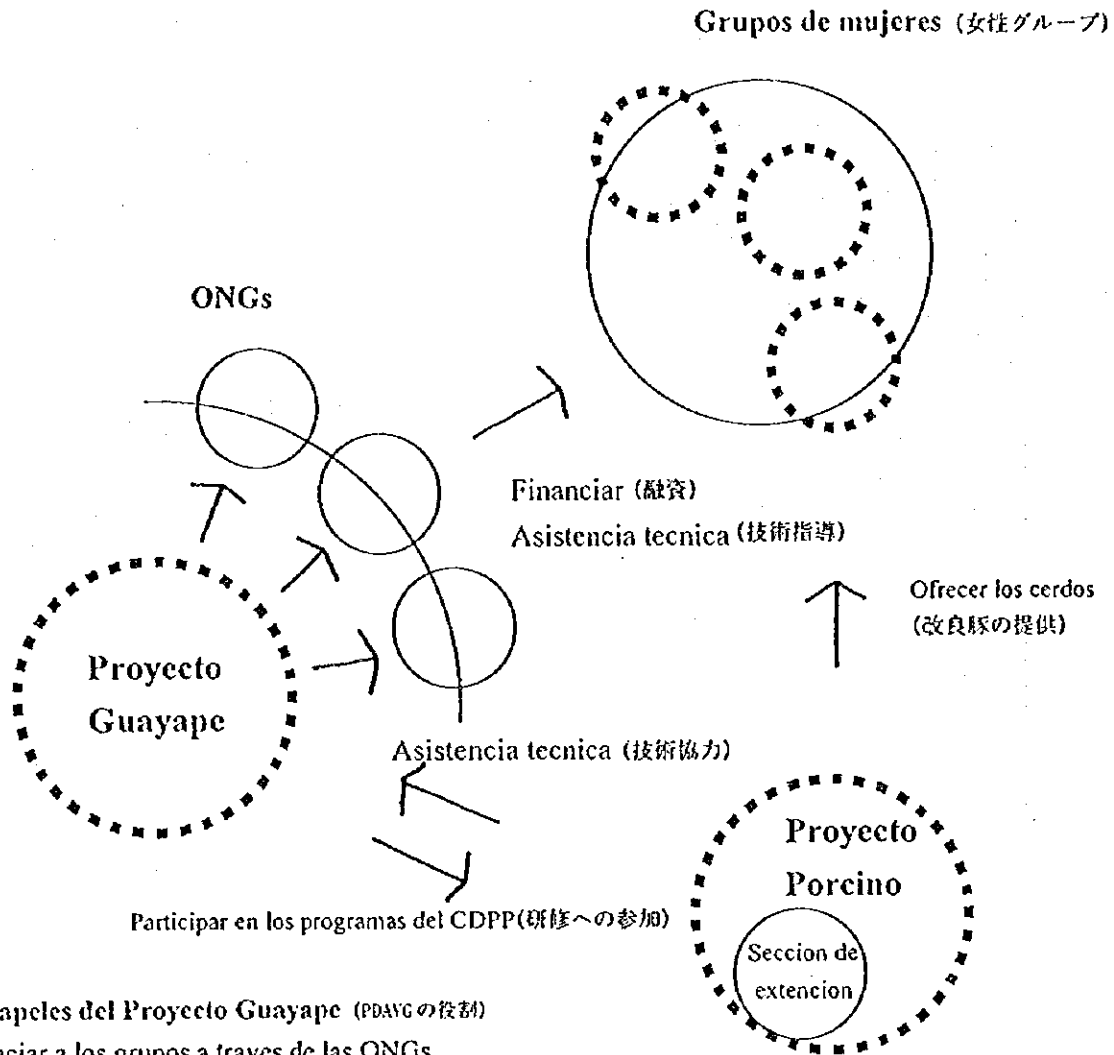
注：特に括弧内に回答数の明記していないものは (1名) である。

23. 養豚開発センターグァヤベ・プロジェクト普及員対象の研修プログラム

養豚開発センター グァヤベ・プロジェクト普及員対象の研修 プログラム		
1 日目：1995/6/1 (木)		
8:30 - 9:00	養豚開発プロジェクトの概要	(Ing. Luis Salgado)
9:00 - 9:15	豚の種類、特徴	(Ing. Edgardo Mercado)
9:15 - 9:30	発情期の鑑定	(Ing. Edgardo Mercado)
9:30 - 9:45	交配時期	(Ing. Edgardo Mercado)
9:45 - 10:00	休憩	
10:00 - 11:00	飼養	(Hector Welchez)
11:00 - 11:30		(Ing. Leonel Alvarado)
11:30 - 12:30	昼食	
12:30 - 13:15	雑乳	(Ing. Leonel Alvarado)
13:15 - 14:00	家畜衛生：消毒、防疫	(Dra. Marlen Castro)
14:00 - 14:15	休憩	
14:15 - 15:00	家畜衛生：駆虫とワクチン接種	(Dra. Marlen Castro)
15:00 - 15:30	質疑応答	
2 日目：1995/6/2 (金)		
8:30 - 9:00	豚舎建設にかかる留意点	(Ing. Hector Welchez)
9:00 - 9:45	衛生管理：	(Dra. Marlen Castro)
	－消毒	
	－ワクチン接種	
	－駆虫	
	－ビタミン投与	
9:45 - 10:15	去勢	(Ing. Hector Welchez)

24. グァヤベ・プロジェクトとの協力プロジェクトの概念

■ Idea basica del convenio del programa de cerdos



Los papeles del Proyecto Guayape (PDAVGの役割)

- Financiar a los grupos a traves de las ONGs  
(NGOを通じての農村グループに対する融資)
- Capacitar los grupos que el PDAVG maneja  
(農村グループに対するキャパシテーション)
- Participar en los programas del CDPP  
(研修への参加)

El contenido de asistencia tecnica (技術協力の内容)

- Ofrecimiento de los cerdos (改良豚の提供)
- Orientacion para la construccion de la porqueriz(豚舎の建設指導)
- Orientacion sobre alimentacion (飼養指導)
- Orientacion sobre sanidad animal (衛生指導)
- Realizar cursos en el centro (研修の実施)

※ Proyecto porcino no podra garantizar la ganancia del proyecto (経営責任の回避)



25. 分野別進捗状況及び達成度

課題	実際の活動	進捗状況	達成度
<b>1. 養豚農家状況調査</b>			
(1) 第一次調査	県内の農家の状況調査、取りまとめ	5	優
(2) 第二次調査	中核農家のみ抽出調査、取りまとめ	5	優
(3) モデル農家選定	モデル農家規程の策定、モデル農家の選定	5	優
<b>(4) 衛生環境調査</b>			
a) 主要伝染病調査	養豚農家における主要伝染病の調査、取りまとめ	5	優
b) 防疫調査	養豚農家における防疫体制の調査、取りまとめ	5	優
c) 動物医薬品市場調査	入手可能な動物医薬品の調査、取りまとめ	5	優
<b>2. 育種・繁殖</b>			
<b>(1) 改良豚の選定と導入</b>			
a) 改良豚の導入計画策定	導入品種、頭数、月齢、時期の計画策定	5	優
b) 改良豚の選定と導入	選定手法の決定、種豚の選定、種豚の導入	5	優
<b>(2) 改良豚の交配、選抜、配布及び登録</b>			
a) 生産、選抜及び配布計画の策定	生産、選抜及び配布計画の策定	4	良
b) 交配計画の策定	交配計画の策定	5	優
c) 交配	発情鑑定、種付け介助、交配の記録	4	優
d) 選抜	1次選抜、2次選抜の実施	4	優
e) 配布	配布規程、必要書類等の作成	2	良
f) 血統の記録	種豚名簿、配布豚の血統記録、血統証明書の作成	3	優
g) 繁殖記録	繁殖記録様式の実施、記帳	3	優
<b>(3) 人工授精</b>			
a) 精液採取	雌及び擬牝台使用による採取	4	優
b) 採取精液の検査及び保持	採取精子の活力及び奇形率の検査	3	優
c) 授精	自然交配ができない雌豚に対する人工授精	3	優
<b>(4) 交雑試験</b>			
a) 改良豚による交雑試験	ランドレース種と大ヨークシャー種による交雑試験	3	優
b) 改良豚と在来豚の交雑試験	試験計画の策定	2	優
<b>3. 飼養管理</b>			
<b>(1) 飼養管理</b>			
a) 飼料給与計画の策定	飼料給与計画の策定	5	優
b) 雄の飼養管理	給与計画に基づく飼料給与、体重記帳	5	優
c) 雌の飼養管理	給与計画に基づく飼料給与、体重記帳	5	優
d) 子豚の飼養管理	給与計画に基づく飼料給与、子豚簿作成、記帳	4	良
e) 育成豚の飼養管理	給与計画に基づく飼料給与、育成豚簿作成、記帳	4	優
f) 肥育豚の飼養管理	給与計画に基づく飼料給与、育成豚簿作成、記帳	4	優
g) 飼料給与実績の記録	飼料給与実績記録簿の作成、記帳	3	良
<b>(2) 飼料原料の配合及び給与試験</b>			
a) 利用可能な飼料原料の決定	利用可能な飼料原料の調査	3	可
b) 配合割合の決定		1	—
c) 試験配合飼料による給与試験		1	—
<b>4. 家畜衛生</b>			
<b>(1) 疾病対策と防疫</b>			
a) 消毒方法の検討	入手可能な消毒剤及び消毒方法の検討	5	優
b) 伝染病予防マニュアルの作成	防疫規程及び防疫マニュアルの作成	5	優
c) 衛生（ワクチネーション）プログラムの作成	ワクチネーションプログラムの作成	5	優
d) 寄生虫駆除試験	寄生虫駆除プログラムの作成	3	良
e) 繁殖障害対策	未発情豚及び多回数再発情豚の発見と治療	3	良
<b>5. 技術研修</b>			
(1) 地域技術者に対する研修	他プロジェクト普及員に対する研修	3	良
(2) モデル農家に対する研修	研修計画の策定	2	良
(3) 養豚農家に対する研修	研修計画の策定	2	良

進捗状況（5：100%、4：75%、3：50%、2：25%、1：0%）

達成度（優：技術移転完了、良：ほぼ完了、可：実施中）

26. プロジェクトの活動状況

事項	活動	活動目標	活動成果	評価(現状状況)	改善措置 概要
1. 実施調査	(1) 1次調査	オランダ3県内の養豚農家の飼育規模、繁殖方法、改良豚の利用状況、給与飼料、自給飼料生産状況等に係る調査をオランダ3県内養豚農家の10%程度に対して行う。また、必要に応じて補足調査を行う。	オランダ3県内の養豚農家の474戸の飼育規模、飼育状況、繁殖状況、主要系統等について調査を実施し取りまとめ分析	調査対象農家の20%の回答は、より十分なデータが得られていないがオランダ3県の養豚状況は把握された	プロジェクト生産豚の肥育先農家を中心とした追加調査の実施が望まれる
	(2) 2次調査	1次調査の結果を踏まえ、全調査対象が10頭以上の中から農家を抽出し、その農家を対象として調査、遺伝病診断実施の調査を行う。	1次調査対象農家のうち、飼育頭数10頭以上(中核農家)27戸の詳細を調査し、モデル農家選定のための調査資料とした	プロジェクト実施期間の4年目に追加調査を実施中核農家を中心に当該種の導入計画が穴まきいことが把握された	
	(3) モデル農家の選定	モデル農家を選定するため、上述の調査結果の総合的な分析と選定	モデル農家選定を決定	モデル農家の選定は1戸のみ	モデル農家の追加、技術伝達の方法について検討が必要
	(4) 衛生状況調査 a) 主要伝染病の現地調査 b) 助産の現地調査 c) 動物用医薬品の流通調査	オランダ3県内における養豚農家の衛生環境の調査(特に主要伝染病)を行う オランダ3県内における養豚農家の現状把握 動物用医薬品の流通状況を調査し、入手可能な医薬品を把握する	オランダ3県内における養豚農家における主要系統が調査されまとめられた オランダ3県内における助産の現状が調査されまとめられた 医薬品の流通状況を調査し、使用可能な医薬品リストを作成した	センター内の助産対策(業務マニュアル及び飼養管理マニュアル)に反映された 同上 使用可能な医薬品リストを作成しセンター内の防疫対策(業務マニュアル及び飼養管理マニュアル)に反映された	プロジェクト生産豚の配布農家における抽出検査が望まれる OIE基準等による伝染病に対する養豚農家の注意喚起が望まれる
2. 実施改良	(1) 種豚の選定・導入 a) 種豚の導入計画の策定 b) 種豚の選定及び導入	実施調査における生産状況を踏まえ、品種、導入元衛生条件、時期を含む導入計画の策定 導入元において、繁殖母の能力、産駒の状況、乳成分の調査、系統を的確に把握し、優良なものを選定導入する。	実施調査の結果を踏まえ、1994年3月3品種(シ、Y、D)計20頭、越100頭を米國から導入する予定の導入決定を決定 導入時期は1994年11月と予定より遅れたが、導入元において優良なものを選定し品種、頭数は計画通り導入	終了 プロジェクト開始4年目に更新用種豚の導入を予定	プロジェクトの活動計画を踏まえ導入用種豚の導入が望まれる
	(2) 改良種豚の交配・繁殖・配布・登録 a) 生産・繁殖・配布計画の策定 b) 交配計画の策定 c) 交配 d) 種豚の選抜 e) 配布 f) 血液の記録 g) 種豚の繁殖記録	現地の生産状況、改良豚の効果的普及を踏まえた種豚の生産、選抜、配布計画の策定を行う 種豚の選抜・能力及び生産計画に基づく交配計画の策定 実情の把握と交配期間の把握及び交配の実施 ・体型・実質母の水準を示す種豚の選抜基準の策定 ・策定した選抜基準に基づく的確な選抜 配布計画に基づく種豚の配布 繁殖改良センターにおける種豚名簿の作成、生産種豚の血液の記録及びモデル農家における生産種豚の血液の記録 繁殖改良センターにおける種豚の繁殖に関する情報の記録及び分析	プロジェクト実施期間中の年次別生産及び選抜・配布計画を策定 種豚選抜基準の策定 1995年1次及び2次交配計画の作成 発情観察検査の作成 計画に基づく交配の実施 種豚選抜基準の策定 ・次生産豚の選抜実施 種豚選抜基準の策定 種豚購入希望の把握及びそれに沿って種豚の開始 種豚名簿の作成 血液記録形式の策定 血液記録の実施 繁殖改良センターの種豚の繁殖に関する技術記録の作成 記録に基づく種豚選抜計画の抽出	養豚農家の要望に対応するため、純粋種主体の生産C/Pにより導入元において種豚選抜、生産豚において2次選抜まで実施 C/Pの業務マニュアルによる繁殖計画の遂行及び状況に応じた調整の実施 2次交配計画のC/Pによる作成 交配は2クール目をC/Pが主体となって実施 導入豚の種豚選抜及び生産豚の2次選抜を実施 種豚購入が遅れたことから、生産豚の配布は1995年10月に開始 センターでの血液記録は開始したが、モデル農家においては未実施 導入豚の繁殖記録は整備 生産豚の繁殖成績の記録は未実施	養豚農家の要望に対応し、生産豚の選抜が必要 実勢の積み重ねによる改良性の確保が必要 繁殖の積み重ねによる改良性の確保が必要 生産豚の選抜の繰り返しによる選抜の確信性の確保 配布先農家の意向の把握の確保が望まれる モデル農家での血液の記録と生産種豚配布農家に対する血液記録の選抜性の調査が必要 記録の整理と分析及びその結果の還元方法の確立が望まれる

課題	活動	活動目標	活動成果	評価(進捗状況)	改善策・研究				
3. 飼養管理	(3) 人工授精	<p>発情同期または同期化台を利用した種乳採取</p> <p>・採取前後の活力検査及び各種検査の実施 ・種液の低温保存</p> <p>人工授精を行う際の交配適期の把握及び種液注入法による増産</p>	<p>技術習得のため、C/Pを日本に派遣 1995年の2次交配から、自然交配不能豚に対し人工授精を実施</p> <p>同上</p> <p>同上</p>	<p>7名中4名のC/Pが種液採取及び人工授精可能 検査技術は移転終了 母豚に未実施 人工授精の実施は2頭</p> <p>同上</p> <p>同上</p>	<p>種液採取時の衛生管理の徹底 生精液の保存装置の移転実施計画の向上が必要</p>				
	a) 種液採取								
	b) 採取種液の検査、保存								
	c) 授精								
	(4) 交配計画	<p>交配種同士の交配産子の繁殖及び産用成績の収支・分析</p> <p>在産豚の繁殖成績及び改良豚と在産豚との交配産子の繁殖成績の収支・分析</p>	<p>改良種決定の決定 交配種計画の作成</p> <p>同上</p>	<p>当初計画よりはやや遅れたが、実施期間3年目中に試験を開始予定</p> <p>同上</p>	<p>計画に基づき試験の実施と結果の分析が必要</p>				
	a) 改良種の交配								
	b) 改良種と在産豚の交配								
	(1) 飼養管理								
	a) 飼料給与計画の作成					センター業務マニュアルに飼料給与計画を記載	業務マニュアル内容は種とC/Pに適用されC/Pの場合内容の改善を実施	業務マニュアル内容に種とC/Pに適用されC/Pの場合内容の改善を実施	業務の積み重ねによる種実性の確保が必要 飼料日計表の分析結果の活用が図られる
	b) 種実性の管理					種実性の飼料給与及び種乳日計表の記入、繁殖成績に対する取扱い	飼料日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	飼料日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	飼料日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施
c) 産卵数の管理	産卵数の飼料給与及び種乳日計表の記入、子豚分娩における母豚及び初生豚の取扱い					産卵数の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	産卵数の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	産卵数の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	業務の積み重ねによる種実性の確保が必要 飼料日計表の分析結果の活用が図られる
d) 子豚の管理	種乳中の子豚の飼料給与及び種乳日計表の記入、子豚の取扱い、定期体重測定の実施	種乳中の子豚の飼料給与及び種乳日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	種乳中の子豚の飼料給与及び種乳日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	種乳中の子豚の飼料給与及び種乳日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	業務の積み重ねによる種実性の確保が必要 飼料日計表の分析結果の活用が図られる				
e) 育成豚の管理	育成豚の飼料給与及び種乳日計表の記入、育成豚の取扱い	育成豚の飼料給与及び種乳日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	育成豚の飼料給与及び種乳日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	育成豚の飼料給与及び種乳日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	業務の積み重ねによる種実性の確保が必要 飼料日計表の分析結果の活用が図られる				
f) 肥育豚の管理	肥育豚の飼料給与及び種乳日計表の記入、肥育豚の取扱い	肥育豚の飼料給与及び種乳日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	肥育豚の飼料給与及び種乳日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	肥育豚の飼料給与及び種乳日計表の記入の実行 業務マニュアルに基づく管理の実施	業務の積み重ねによる種実性の確保が必要 飼料日計表の分析結果の活用が図られる				
g) 飼養管理の記録	定期体重測定、飼養管理の作成及び記録	定期体重測定、飼養管理の作成及び記録	定期体重測定、飼養管理の作成及び記録	定期体重測定、飼養管理の作成及び記録	飼養管理の記録の作成と分析による種実性の確保が必要				
4. 繁殖衛生	(2) 飼料の試験的配合	<p>飼料原料(種乳原料及び自給原料)の利用可能性について調査を行う</p> <p>決定された飼料原料による栄養的かつ経済的に適切な配合割合を決定する</p> <p>試験的に調査された飼料を使用した飼料給与計画の策定及び改良の実施</p>	<p>利用可能な飼料原料の調査の実施 飼料原料の成分分析の実施 未実施</p> <p>調査は試験的に基づき飼料標準試験計画を作成予定</p>	<p>利用可能な飼料原料の調査及びその成分の分析を継続中</p> <p>1996年当初の計画作成と同程度の試験実施を予定</p>	<p>飼料原料の決定、配合割合の検討が必要</p> <p>同上</p> <p>同上</p>				
	a) 利用可能な飼料原料の決定								
b) 配合割合の決定									
c) 給与試験									
(1) 繁殖計画・防疫	<p>適切な消毒方法についての検討及び実施</p>	<p>センター内においては適切な消毒方法がとられ、豚舎の防疫対策を確実に実施</p>	<p>センター内においては子豚の下部を洗浄し乾燥させる必要</p> <p>の発生はない</p>	<p>下部対策の実施が必要</p>					
a) 消毒方法の検討									

課題	活動	活動目標	活動成果	経過(実施状況)	改善策 提案
5. 研修 研修	b) 防疫マニュアルの策定	防疫マニュアルの策定及び防疫対策の実行	防疫マニュアルをきき業務マニュアルを策定し、これに基づく防疫対策を実施	C/Pが中心となって防疫マニュアルの見直しを実施	
	c) 単発(ワクチン接種)プログラムの策定	主に廊下、A/Rワクチンの接種に係る衛生プログラムの策定	衛生(ワクチン接種)プログラムが策定され実行中	C/Pがワクチン接種を的確に実施している	モデル施設等に対する改良版の研修書及びパンフレット等による衛生意識の向上を図ることが望まれる
	d) 衛生意識の検討	有菌昆虫・内外部衛生(特に有こう昆虫)の検査、防疫方法の検討及び実施	有菌昆虫及び衛生の防疫プログラムを含む研修マニュアルが作成され、これによる防疫及び衛生が実施されている	センター内の防疫対策は的確に実施されているが、モデル施設等への衛生指導は未実施である	衛生意識向上を図るため、衛生意識検査を実施し、衛生意識向上を図るため、衛生意識検査を実施する必要がある
	e) 実施担当者対策の検討	検査検疫の実施、検疫の衛生学的な取扱い	実施マニュアルに基づく検疫採取の実施により、衛生学的な検疫の取扱いがなされている	センター内における有菌昆虫及び衛生の防疫は的確に実施されているが、衛生意識検査は検査担当者の未実施により未実施	検査所長による検査検疫の検査が必要である
	(1) 技術研修	オランダチヨ域内の養豚技術に対する研修	オランダチヨ域内の養豚技術に対する研修	先立って研修の発見、研修が可能な研修センター、グアヤベ、プロシエクトの策定及び5名(女性)に對して2日間に渡り養豚技術研修の研修が実施された。研修は研修管理、記録改良、系改良衛生分野のC/Pが担当	研修内容は体系的に進めるため研修対象組織、研修対象者を明確に選定し、実施することが必要 また、研修対象者のニーズ、技術レベルを把握した研修内容の策定と実施が必要 さらに、技術普及のためには研修のみならず、講習会、広域活動など効果的手段を講ずることが必要 これらの普及活動を組織的、体系的に進めるため、プロジェクト活動に「技術普及」分野を設け、新たに日本人専門家及び水豚C/Pの配置が望まれる
(2) モデル施設研修	オランダチヨ域内において指定されたモデル施設を対象とした技術研修	改良版の策定(研修)による中核的研修施設研修をモデル施設に決定したばかりで、モデル施設のみを対象とした研修は未だ実施されていないが、一般系家研修に参加	現在の決定施設は1戸であり、具体的な研修計画は今後策定の予定	同上	
(3) 一般系家研修	オランダチヨ域内の一般系家を対象とした技術研修	養豚協会委員5名(内女性1名)に對して3日間に渡り、養豚技術研修についての研修が行われた。講師は研修管理、記録改良、系改良衛生分野のC/Pが担当	現在、研修者は養豚協会の会員系家のみ	同上	







JICA

